

公益社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 平成 24 年度第 1 回 議事録案

日時	平成 24 年 5 月 17 日 (水) 14:30~17:00 予定					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	安福 規之	○	★理事	小島 芳之	○	幹事	仙頭 紀明	×
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	○	部員	坂元 耕三	×
部員	西岡 英俊	○	部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	×
★部員	宮田 喜壽	×	★部員	吉嶺 充俊	○	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	○	オブザーバ	藤原 照幸	○			

★：H20 年度新任      ○：出席予定      ☆：出席（電子会議）      ◎：代理出席      ×：欠席予定      △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-24.1.0	平成 23 年度 第 6 回基準部会議事録案
資料-24.1.1	地盤調査規格・基準委員会に係る委員・幹事の変更リスト (5 名)
資料-24.1.2	地盤調査規格・基準委員会 「地盤調査－基本と手引」改訂 WG 名簿案
資料-24.1.3	新設 WG 「水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討委員会」設立趣意書
資料-24.1.4	新設WG 「単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG」設立趣意書
資料-24.1.5	改正基準案「JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法」に対する会員からの意見対応
資料-24.1.6	地盤調査関係基準の基準番号変更に関する資料
資料-24.1.7	グラウンドアンカー設計・施工基準, 同解説 (JGS4101-2012) の価格算定表
資料-24.1.8	「技能試験実施検討ワーキング」の設置検討資料
資料-24.1.9	日本粉体工業技術協会粉体工学会「ふるい小委員会」への委員派遣依頼書
資料-24.1.10	理事会 (3/16, 4/27, 5/14) 開催報告資料
資料-24.1.11	地盤工学表記法委員会報告資料 [4月17日議事録案]
資料-24.1.12	新規制定学会基準案の学会誌 7 月号公示用まえぶん
資料-24.1.13	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [5 月 7 日議事録案]
資料-24.1.14	
資料-24.1.15	
資料-24.1.16	
資料-24.1.17	
資料-24.1.18	
回覧資料	

1. 前回議事録の確認

(資料-24.1.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係

- (1) 日下部会長からの提案 継続審議
  - ① JGS 基準の JIS 化の促進
  - ② 基礎設計・施工基準の促進
  - ③ ISO 活動への資金獲得
  - ④ CEN のアジア版組織の構想
  - ⑤ HP 掲載内容の改訂について
- (2) 地盤工学会の ISO 規格への対応方針
- (3) 常設委員会委員長・幹事の活動期間について

3. 委員等の異動

- (1) 室内試験規格・基準委員会
- (2) 地盤調査規格・基準委員会
  - ① 別添資料に記載する 5 名の異動 メール審議済 (資料-24.1.1)  
委員の交代を承認した。
  - ② WG「地盤調査基本と手引き」の構成 (資料-24.1.2)  
WG の構成を承認した。
- (3) ISO 国内委員会
- (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
- (5) 表記法検討委員会
  - ① 委員長の交代  
岸田 隆夫 委員長 (東亜建設工業) → 大島 昭彦 氏 (大阪市立大学)
  - ② 委員の退任  
石井 建樹委員 (木更津工業高等専門学校)  
理由：学内業務増加により活動が困難のため。なお、補充は今後の活動状況をみて検討予定  
委員長の交代および委員の退任を承認した。
- (6) 部員の異動
  - ・西岡 英俊 部員 (公益財団法人鉄道総合技術研究所) → 高柳 剛 氏 (同所)  
※現在は JR に出向中ですが、6 月復帰予定です  
部員の交代を承認した。

4. ISO 国内委員会 関係

- (1) 国際会議派遣 (変更)
  - ① CEN/TC 341/WG 6 会議 メール審議済
    - ・行 先：アテネ (ギリシャ)
    - ・出張者：豊田 浩史 委員 (長岡技術科学大学, ISO 国内委員会委員)  
吉嶺 充俊 委員 (首都大学東京, ISO 国内委員会 TC182 国内専門委員会委員)
    - ・期 間：2012 年 5 月 7 日～5 月 13 日 (会議日：5 月 9, 10, 11 日)
    - ・理 由：CEN/TC341/WG6 (Laboratory tests on soils：室内土質試験) において、12 の室内土質試験の ISO 規格の策定が行われてきている。日本は、これらの中で 11 の規格・基準を有しているため、会議において積極的に意見を発し、我が国への影響がないように対策を進めておく必要がある。今回は、第 7 回目の会議となるが、ISO 規格の今後の動向を把握し、必要に応じて国内委員会において対策を講じる。
    - ・費 用：地盤工学会 ISO 対応費
  - ② ISO/TC 190-ISO/TC 85 合同連絡会議 メール審議済
    - ・派遣先：パリ (フランス)
    - ・出張者：坂井宏行グループ・リーダー (JR 総研, ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法)  
— convener、議長職)

- ・期 間：2012年6月10日～6月14日  
(行程をただいま調整中のため、出張期間は変更となることがあります。)
- ・理 由：日本(地盤工学会)は、ただいま ISO/TC 190/SC 3/WG 10(予備試験法)を主導し、日本案件4件のうち2件(油分向け比濁検出法およびクロム(VI)向けテストキッツ検出法)は、CD投票前またはWDの状況にあります。このため、投票終了後の各案件の審議運営を整理する必要が生じたため、標題の連絡会議に出席するものです。また、日本が提案を目論んでいる「土壌中の放射線向け計数法」については、提案にさいし、関連TCとの協議が必要になったことから、今回は、ISO/TC 190とISO/TC 85(原子力エネルギー、原子力技術および放射線防護)と連絡会議を合同でおこなうことになったものです。
- ・費 用：三菱総合研究所・重点TC指定  
委員の派遣を承認した。

#### 5. 地盤工学表記法委員会 関係

#### 6. 室内試験規格・基準委員会 関係

#### 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

##### (1) 新設WGの設置

①「水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討委員会」 (資料-24.1.3)

②「単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG」 (資料-24.1.4)

上記2つのワーキンググループ設置を承認した。なお、WGナンバーについて、①はWG-11を、②はWG-12とする。

##### (2) 改正基準案「JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法」に対する会員からの意見対応

(資料-24.1.5)

「押込み長」の長さの規定について再確認することとなった。

##### (3) 地盤調査関係基準の基準番号

(資料-24.1.6)

上記2つのワーキンググループ設置を承認した。なお、WGナンバーについて、①はWG-11を、②はWG-12とする。

#### 8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

#### 9. 販売促進WG

HP上での課金システム、書籍のPR方法の検討を行う場である旨紹介され、必要に応じて担当理事に担当していただくこととなった。

#### 10. 基準部所管刊行物

##### (1) グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2012)の価格について

(資料-24.1.7)

・事務局案：会員特価・・・2,625円(税込、本体2,500円)－旧版より210円減額

定 価・・・3,675円(税込、本体3,500円)－旧版と同額

上記事務局案を承認した。

#### 11. その他

##### (1) 「技能試験」の実施に関する検討

(資料-24.1.8)

資料に基づいて、これまでの経緯、今後の活動目標が説明され、WGの設置が承認された。

なお、メンバー構成について意見が交わされた。今後、幹事会を開催し、内容・構成について検討を行うこととなった。

##### (2) 一般社団法人日本粉体工業技術協会粉体工学会「ふるい小委員会」への委員派遣

・候補：吉嶺 充俊 氏 (ISO国内委員会委員、首都大学東京)

(資料-24.1.9)

上記候補を承認とし、事務局より日本粉体工業技術協会粉体工学会へ連絡する。

1. 理事会 (3月16日, 4月27日(書面), 5月14日) 開催報告 (資料-24.1.10)  
 資料に沿って報告がなされた。特に、地盤材料試験の方法と解説の原稿料支払いが滞っていることについて報告され、事務局に早急に対処する旨指示された。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成24年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100万円		○		
・三菱総合研究所(回答作成)	70万円		○		
・三菱総合研究所(重点TC旅費)	3件		○		
・日本土木工業協会					
・三菱総合研究所(国際標準開発事業)		450万円	○		
小計	170万円+3件	450万円			
合計	620万円+3件				

現在の状況が報告された。

(2) 地盤工学表記法委員会

- ① H23 第5回委員会(4月17日開催) 報告 (資料-24.1.11)  
 資料に沿って報告がなされた。

(3) 室内試験規格・基準委員会

- ① 新規制定学会基準2件の公示用まえぶん (資料-24.1.12)  
 資料に沿って報告がなされた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

- ① H24 第1回委員会(5月7日開催) 報告 (資料-24.1.13)  
 資料に沿って報告がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 販売促進 WG

(7) 英文HP

4. 日本工業標準調査会 土木部会

●H24年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 平田 健正 (坂井宏行)  宮田 喜壽	
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (小口秀俊) (乾 徹) (藤原照幸) (塚本良道) (阿部哲生) (椋木俊文) 山下 聡 大島 昭彦 伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編）  ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編）  ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編）	谷 和夫 松島 潤 正垣 孝晴 中村 裕昭 田中 洋行  細野 高康 三嶋 信雄  上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	

## 5. その他

- 1) 理事会（平成24年 6月 20日（水）書面審議, 平成24年 7月 27日（金）開催）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成 24 年 6 月 5 日（火）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
  - ・ 24 年度第 2 回：平成 24 年 7 月 18 日（水）または 20 日（金）14:30 時～（対応理事会 H24. 7.27 or H24. 9.28）
  - ・ 24 年度第 3 回：平成 24 年 9 月 12 日（水）または 13 日（木）14:30 時～（対応理事会 H24. 9.28 or H24.10.24（書面））

☆ 平成 24 年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

### ◎理事会

- ① 4 月 27 日（金） ※書面審議
- ② 5 月 14 日（月）
- ★ 6 月 13 日（水） 総会／理事会
- ③ 6 月 20 日（水） ※書面審議
- ④ 7 月 27 日（金）
- ⑤ 9 月 28 日（金）
- ⑥ 10 月 24 日（水） ※書面審議
- ⑦ 11 月 30 日（金）
- ⑧ 12 月 19 日（水） ※書面審議
- ⑨ 1 月 25 日（金）
- ⑩ 2 月 20 日（水） ※書面審議
- ⑪ 3 月 15 日（金）

- 
- ⑫ 4 月 24 日（水） ※書面審議
  - ⑬ 5 月 17 日（金）
  - ★ 6 月 13 日（木） 総会/理事会